

(3) 県民防災意識の向上

現状と課題

- ◆ 県民意識アンケート（令和元年度）の結果では、県民生活に関連する37項目に関する重要度・満足度において、「自然災害に対する備え」重要度8位、満足度12位となっており、県民意識の高さがうかがえます。（再掲）
- ◆ 地球温暖化の進行に伴い集中豪雨が増加する傾向にあり、自然災害が激甚化、頻発化する危険性が高まっています。（再掲）
- ◆ 木材価格の低迷や不在村所有者の増加等により、適正に経営管理されていない森林が増加しています。（再掲）

将来ビジョン

- ◆ ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策が実施されています。

取組の方向性

- ◆ 山地災害危険地区の周知により、防災意識の醸成を図ります。

具体的施策《重点取組》

(山地災害危険地区の周知)

- ◆ 災害が発生するおそれが高いと考えられる地区（山地災害危険地区）を随時見直すとともに、位置情報の周知を図ります。
- ◆ 自然災害の猛威は施設整備だけでは不十分であるため、「自らの命は自らが守る」といったの防災意識の醸成を図り、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を強力かつ集中的に推進します。

数値目標 【災害への適応力向上】

指 標	現状値	目標値
市町村、インフラ施設管理者との協定等による取組市町村数	—	35
インフラ施設周辺森林整備箇所数	—	35